ASSOCIATION OF INTERNATIONAL
TRADE BUSINESS ADVISERS LLC（愛称：AIBA）

AIBA だより

第45号　2007年7月発行

有限責任中間法人 貿易アドバイザー協会
http://www.trade-advisers.com/

発 行 人：網谷　昭寛　Tel: 0297−82−6778
編 集 人：釜堀　孝雄　Tel: 04−7122−5956
編 集 者：川村　慎吾　Tel: 045−824−7262

理事長就任ご挨拶
―ピンチはチャンス―

網谷　昭寛（東京　＃1）

ジェトロ試験事業廃止の背景

我が国政府は昨年秋以降、ジェトロを含む独立行政法人の事業に関して、真に担うべき業務に特化するとともに国の歳出削減を図るため、業務の①重点化、②効率化、③廃止・外部移管、という観点から見直しを進めてきたところです。この中で「貿易アドバイザー試験」制度については、『今中期目標期間中（2007〜10年度）までの出来るだけ早期にジェトロ事業としては廃止し、民間の実施主体へ移管可能か調査し、移管等の措置を取ること』と勧告されました。ジェトロではこの勧告に基づき、AIBAを主体とする関係者に対し充分な告知期間を設けた上で所要の措置を取るよう考えていたようですが、本年5月および6月には別の観点（政府の「規制改革会議」及び「経済財政諮問会議」での動き）をも勘案し、「本年度限りの廃止」へと事態は急激な変動をみせました。

この急ピッチの動きにAIBA会員の中にも「生みの親であるジェトロの当試験制度が廃止されては私たちの拠って立つ根拠も崩壊する」との動揺が走りました。

AIBAとしても、費用対効果面の改善に資するためAIBA主催「受験対策セミナー」を実施し、昨年度受講者の高い合格率を背景に、新年度はより積極的な実施に踏み切った直後だけに、本年度で廃止されることへの抵抗感は禁じ得ませんでした。

緊迫時のAIBA役員交替

時恰もこの難局にあたり、7年間に亘りAIBAをリードされた澤田理事長が退任され、多数会員の推挙により後任理事長に就任しました私としては、この事態を前向きに受止め積極策を以って対処する所存であります。

AIBA会員は、何回目かの受験で難関を突破した上、合格後も内部研修や情報交換により自己研鑽を積んでいます。従って、AIBAという組織に立って対応すれば、生みの親（ジェトロ試験制度）の引退後も立派に自立して行けると信じます。組織も人間である以上、いつまでも親掛りより早く自立した方が基盤が確りするものです。

「貿易アドバイザー試験」がジェトロの手を離れ民間組織で再発足する場合には、過去13回の受験経験者として、且つ資格取得後の貿易業務への貢献実績は自他共に認めるところでもあり、AIBAが何らかの形で新制度を支援して行く立場を保ちたいと考えます。

取引関係は太い絆

ジェトロさんは資格試験を離れても、AIBAにとって大顧客であることには今後も変りはありません。それは単に生みの親であるという関係ではなく、AIBAの提供して来たサービスの質が満足すべきものであったからこそ続いているのだということを忘れないでください。

今後の需要は殆ど入札方式となりますが、単に価格面のみならずサービスの品質・納期面が満足すべきものである限り安定取引先となり得ます。従ってここで敢えて名称は申しませんが、従来からAIBAが提供して来たサービス諸案件にはこれまで以上に真面目な努力が求められます。その実績が又信用を生み新規案件の受注にも繋がるのです。（今年3月の2冊子更新製本納品業務落札受注が良い例でしょう。）

新AIBAの目標

今回、AIBA理事・監事に就任されました諸兄は夫々の業域でトップクラスの優秀な若手実力者揃いですから、ジェトロ以外の入札や公募案件受託にも腕を振るって頂けるものと期待しています（別枠「新役員プロフィール」ご参照ください）。

AIBAの財政は、会員の皆様に創立以来初の年会費値上げご協力を頂きましたが、それでもなお、相当額の収益事業を必要とします。

中間法人と雖も収益事業が認められている所以です。予算には組んでいませんが、関係各位のご協力を得て、

Contents（目次）

P1… 理事長就任ご挨拶　―ピンチはチャンス―　網谷　昭寛
P2… AIBA理事長退任に当たり御礼の言葉と AIBAボランティア活動を考える　澤田　敬之
P3… 支部長退任ご挨拶　近藤　昭道
第5回定時会員総会開催される　事務局
P4… 「宝の山」余聞　永野　靖夫
3年ぶりの香港　片本　善清
支部活動
P5… AIBANET論壇、アドバイザーの活動 ＜講演・講師＞
P6… ＜相談アドバイス＞、＜執筆＞
P7… アドバイザーの現況、理事会議事録（抄録）

役務収入額を昨年度実績から2年以内に倍増することを目標としたいと考えています。これが実現の暁には皆様のためにご尽力頂いている役員全員に多少なりとも報酬が支払える正常な事業組織となり、会員の皆様にとってAIBAが頼り甲斐のある存在となることでしょう。

（別枠）
（AIBA新役員プロフィール）

ここで新体制の理事会メンバー17名をご紹介します。

網谷昭寛　（＃1）理事長（代表理事）商社OB
渡辺肇幸（＃115）副理事長（事業本部長）商社OB
釜堀孝雄（＃228）専務理事（事務局長･広報担当）商社OB
小河原進（＃344）理事（事務局･総務広報担当）紡績OB
井上隆彦（＃12）理事（事務局･会計･事業管理）銀行OB
寺尾邦彦（＃270）理事（研修事業担当･チーフ）重工業OB
白土茂雄（＃474）理事（研修事業担当）商社OB、コンサル自営
大河内竹雄（＃17）理事（研修事業･内部研修担当）商社OB
菅野英明（＃282）理事（事業開発担当･チーフ）IBM･OB
下田伊佐夫（＃48）理事（事業開発担当）機械商社OB、代行業
畠山茂雄（＃372）理事（北日本支部長）輸入食品OB、代行業
中川善博（＃67）理事（東海支部長）チェーンストアOB
門　元則（＃321）理事（関西支部長）機械メーカーOB
井上照章（＃331）理事（中国四国支部長）自動車メーカーOB
清田哲司（＃337）理事（九州支部長）食品商社OB、食品製造
伊東仁一（＃223）監事　総合フォワーダー参与
柴田　篤（＃508）監事　国際税務事務所経営

AIBA理事長退任に当たり御礼の言葉とAIBAボランティア活動を考える

澤田　敬之（東京　＃43）

顧みれば12年前貿易アドバイザー試験に合格して直ぐ初代代表清水さんのこの指とまれの会合で集まった仲間と共に立ち上げたAIBA。小生はその2年前、在学中からの念願であった「商社」を60歳で起業したばかり。小企業の親爺とAIBA役員との二足の草鞋生活がこの時から始まりました。定年退職後に持て余ましているエネルギーをボランティア活動に投じている同期の仲間たちの清清しい姿を見て、俺も仕事人間だけで人生を終えるのではなく、幾らかでも他人様のお世話業をやらして頂ければという率直な気持ちで役員の一角に入れて頂きました。

その後新しく組織化した「中間法人AIBA」の理事長に図らずも推薦され7年の長きに亘り努めさせて戴くことになりました。引き受けた以上は最後まで弱音を吐くまい。良くぞここまで頑張れた。これも偏に会員の皆様の支えがあったればこそと感謝の気持ちで一杯です。本当に有難うございました。

AIBAはその後発展的拡大を続け、会員数も右肩上がりに増加をみました。‘数こそ力なり’を合言葉に会員数増強に注力して来ました。然しながら試験合格者の減少＝入会者の減少と加えて退会者の続出とのダブル効果により、残念ながら平成16年354名をピークにその後は会員数の減少が続いております。またアドバイザー生みの親であるJETROも独立行政法人へ更には官から民へのトレンドの先頭に立った改革が進められようとしており、短期間にAIBAを取り巻く環境に大きな変貌が見え始めました。

小生としてはここ数年、会員総会を含むあらゆる機会を捉えて、これらの現象を‘AIBAの危機’として訴え続けて来ました。先ずAIBAをめぐる内外の急激な環境の変化の実態を、我々会員自身が充分認識することの必要性です。受注案件のジェトロ偏向型からAIBA独自プランに基づく提案型ビジネス案件指向へ。会員サービスもさることながらビジネスとしてAIBA利益に貢献できる案件の開発。協会運営の基盤強化のため、会員の自助努力としての会費の値上げ実施（会創設以来12年目にして実現）今理事長退任に当たりAIBA運営の基本姿勢であるボランティア活動とその限界につき会員の皆様にぜひお考え頂きたいという事であります。

創設当初の立ち上げ時代は、総てが全くゼロからスタートし必死になって立ち上げたわけですから、文字通り無給ボランティアに誰も疑問を抱く会員はいませんでした。然るに12年経過して毎年新しい会員が増えるにつれて、AIBAの基本理念たるボランティア活動の実態とあり方に乖離が生じて来ている事実に対し、如何に対処・改善すべきかという大きな問題に今直面しています。

①AIBA運営の基本は大部分の無給役員によって支えられていること
②一部事務局担当の理事への些少な給与の支給（金額は労働実態を反映するものではなく、社会通念上の給与といえる金額ではない）
③有給／無給役員間の無言の精神的軋轢
④案件受注に努力した無給ボランティアのAIBA担当者と案件実施者の得られる報酬との関係（JDP案件等のプロジェクト案件の担当委員は有給ですが）

一生懸命努力して新規案件を受注しても担当者には何の見返りもないのは、やはり考えさせられる問題です。仕組みに問題があるといえましょう。

このような状態が続くと自ら率先してAIBA役員に手を挙げる会員は期待できず（過去2名）、毎回役員改選時期になると候補者難に苦労して来ました。

この11年間二足の草鞋を履き、自分なりに必死に努力してまいりましたが結果を顧みるときAIBAに何ほどの貢献が出来たかと内心忸怩たるものがあり、小生の非力をお詫びいたします。

AIBAが未曾有の危機に直面しつつある現時点での退任は、まさに敵前逃亡の謗りを免れませんが、ここで心機一転新たに次の走者にバトンタッチし、新理事長のリーダーシップの下、飛躍を図って頂きたいと願うものです。ピンチはチャンスといわれます。生みの親であるジェトロから一定の距離を置くことは、厳しいでしょうがAIBAを強くさせ、今後の進路に無限の新しい可能性を生み出すことにもなります。朔風が吹いても向かい風吹こうとも、たじろがず前だけ見つめ、AIBA発展のため立ち向かおうではありませんか。フレーフレーAIBA

支部長退任ご挨拶

前中国・四国支部長　近藤　昭道（広島　＃36）

先般、5月12日の中国・四国支部総会において、優秀な後任、井上照章氏に後事を託し、七年間に及ぶAIBA中国・四国支部長を退任した。種々の気付事項を引継ぎ最近ようやくほっとしたところである。

思えば2000年、前理事長の清水正明さんからそれまで関西支部の例会に出席していた私に、中国・四国支部の設立方を促され、その音頭をとった因縁で初代支部長となり、任期の四年後にはAIBAの法人化の問題があって1年延長、5年後にはもう一期と、あっという間に計7年が経過した。

元来、凡才の身で、頑迷なアナログ派の私が知らぬ間にご迷惑をかけた方も多いのではなかろうか。いづれにしても人生の晩年に、支部運営のマネジメントというこれ程集中できることがあったのは、私にとって大変幸いであった。いろいろ反省点はあるが、7年の任期を無事全うできたのは澤田理事長をはじめ本部各部門の的確なご指導、地区会員はもとより全国の各支部のご協力・ご支援があったればこそで、ここに改めて厚くこの紙上をかりて御礼を申しあげ、退任のご挨拶とさせていただきます。有難うございました。感謝・感謝。第5回総会を控えたAIBAの更なる発展を祈るはかりである。(6月14日)

第5回定時会員総会開催される

事務局

6月23日（土）午後3時より日比谷、飯野ビル、レストラン　キャッスルにおいて、貿易アドバイザー協会の第5回定時会員総会が開催されました。澤田理事長からの開会の挨拶、ジェトロの貿易投資相談センター、守部裕行センター長より来賓のご挨拶を頂いた後、澤田理事長が議長を務め、審議が開始されました。

第1議案、2006年度の事業報告および決算報告、監査報告。釜堀専務理事より事業報告、井上理事より決算報告、また、岩田監事より監査報告が行われ、議長より決算案について、諮った結果、原案通り承認されました。

第2議案、主たる事務所を東京都港区から東京都千代田区に移転する件。原案通り議決されました。

第3議案、役員改選については、5月の定例理事会で選任された理事15名、監事2名がまず、総会で承認された後、10分間の休憩に入りました。その間、新任の理事の互選により、満場一致で網谷昭寛氏が新しい理事長として選出されました。

再任を除く、新任の理事および監事は以下の通り。(敬称略)

(理事）渡辺肇幸、白土茂雄、大河内竹雄、菅野英明、下田伊佐夫、井上照章

(監事）伊東仁一、柴田篤

(ここで議長交代。新任の網谷理事長が議長を務めました。まず澤田理事長より退任の挨拶があり、その後、網谷理事長から改めて、新しい理事および監事が紹介されました)

第4議案、第6期事業計画の説明と第6期事業予算審議
網谷新理事長より第6期の事業計画について、説明があった後、第67回理事会において承認を得た「第6期事業予算（案)」について、釜堀専務理事より説明があり、総会で諮った結果、原案通り承認されました。

第5議案、役員報酬額承認の件　第67回理事会で承認された原案は報酬のあり方を巡って、質疑応答があったが、審議の結果、承認されました。

第6議案、退任役員に記念品贈呈の件、原案通り、承

認されました。なお、退任された理事6名および監事2名は以下の通り。（敬称略）
（理事）澤田敬之、大谷巌、橋本浩一、足立葉一、川村慎吾、近藤昭道
（監事）野本功司、岩田英昭

支部活動現況報告は総会の議事進行が長引いたため、北日本支部のみが報告を行いました。引き続き、会員交流会が開催されました。

交流会では、ジェトロの斉藤総括審議役が乾杯の音頭とスピーチを行いましたが、その中で、今年秋のジェトロ認定アドバイザー試験はジェトロが実施する最後の試験となるとの報告がありました。今後の受け皿についてはこれから検討されることになります。

会員同士の会話が弾む中、交流会は夜8時に閉会となりました。

「宝の山」余聞

永野　靖夫（東京　＃68）

2005年10月発行の本紙第38号に「出展者リストは宝の山」と題する投稿を致しました。その中で、FAIR GUIDEと名乗る詐欺師より、DMが舞い込み、それにサインした結果、多数の会社が精神的にも、金銭面にも被害に遭われている旨、報告した次第です。

さて、その後本件は立ち消えになったものと思っていましたが、先日、見知らぬ方から、第38号の私の記事を見たので、話に行ってよいかとの連絡を受けました。お会いした結果、以下のごとくお話を伺うことができました。

1. 本年5月末に、ビッグサイトで開催されたIFIA JAPAN 2007（第12回国際食品素材・添加物展）に出展したところ、FAIR GUIDEというDMが舞い込んだ。あまりよく読まずにサインして返送したところ、第1年度分の広告代として、981米ドルの請求書が来た。吃驚してDMを読み返したところ、これはORDERであるとの趣旨の文言を見付け愕然とした。
2. どうにかこれに対抗できないものかと考え、インターネットで検索した結果、ヒットした内の一つが私の記事である。
3. 又、本件については本年2月19日付けにてオーストリア・ウィーンのSCHUTZVERBAND（文面から察すると地方裁判所？）から、「このような宣伝文は、判例からみて、オーストリアでは受け入れられない。又、CONSTRUCT DATA（FAIR GUIDEの主催者）は2月13日に法廷で、このような誤解を招く宣伝文はEU等では出さない旨、証言した」旨の告知が出されている。
4. その上、FAIR GUIDEのDMにサインしてしまった場合に出すべきモデル書式まで出来上がっている。

以上、本件はこのように決着を見ております。しかし、彼等は相変わらずIFIA JAPAN 2007の出展者をはじめとして、日本ではDMをまき散らしていますので、十分ご注意ください。もし、本件で悩んでおられる方がおられたら、ご連絡願います。モデル書式を差し上げたいと考えます。

3年ぶりの香港

片本　善清（奈良　＃422）

この5月に約三年ぶりに、香港に出向きました。そのサプライズ三点を挙げますと、

(1) イミグレーション（到着カウンター）で、30分も並ばされました。人人で一杯で（中国語で『人山人海』という）、延々と並ばされて疲れ果てました。しかも、大陸からの人が一杯で、ここは中国のどこかと勘違いするくらいです。この混雑ぶりは、全くの中国式です。
(2) 外国人居住者では、日本人が減って、韓国人が増えてきています。統計上では、日本人が二万人で、韓国人が4、5万人になっているらしい。
(3) 高級ブランド品や高級化粧品がよく売れています。これも大陸からの旅行客が急増して、どんどん人民元を使っている証拠です。現に街の両替所で人民元が香港ドルの1.1倍になっています。
（RMB￥100.00=HK$110.0）

従来の逆です。これらは、いずれも香港が中国に返還されて今年で丸十年になりますが、ますます大陸化が進んで昔の香港は姿を消したと言えます。香港ヒイキの小生にやや寂しいことです。

今回の香港行きは、香港の老朋友に会うことと現在の大陸との情況をチェックすることでしたが、現在の香港では金融業界のみが商売繁盛という情況と言えます。わが朋友たちは、大陸で生産工場を作り製品を大陸で販売するという投資が主体で、従来の商品や原料の売買とか第三国向け取引などは、徐々に減少してきています。

ちょっとここで、直接的に香港とは関係ありませんが、わが朋友の話で、大陸の景気急上昇というか、富裕層の増加ぶりの一例をあげますと、100グラムの缶入りの鉄観音が@RMB￥450（＝日本円￥7500）とか、さらに高級な「新茶一番」というものが、RMB￥1800（＝日本円￥30000）で、飛ぶように売れているそうです。これらは、市民個人が顧客とか親戚とかにプレゼントするらしいです。勿論包装などデザインは、こぎれいに仕上げています。日本からのりんごや梨が1個￥2000でも売れるという話も、これでうなずけます。大陸の景気がどこまで膨張するのかと、またいつまで続くのかとちょっと心配になってきます。

支部活動

首都圏地区

4月14日　4月度勉強会例会

テーマ：「改定信用状統一規則の使用上の留意点」
講　師：貿易アドバイザー協会
理事（事務局）井上隆彦氏
場　所：東京都立産業貿易センター
参　加：43名
5月12日　5月度勉強会例会
テーマ：「本当に日本の消費者物価は高いのか、
日本の消費者は幸せなのか不幸なのか」
講　師：株式会社プラネット
代表取締役社長　玉生弘昌氏
場　所：東京都立産業貿易センター
参　加：32名

東海支部

4月21日　支部例会（勉強会）
講　演
テーマ：「海外駐在の体験と機械の輸出」
講　師：東海支部会員（＃496）竹本史生氏

関西支部

関西支部活動報告
5月19日（土）関西支部第11期（平成18年度）定時総会が開催されました。
AIBA本部からは寺尾邦彦理事（＃270）をお迎えしご挨拶いただきました。
役員改選では、門元則氏（＃321）が引続き関西支部の支部長として選出されました。今回支部長以外の役員改選は無く、今期の第12期は第11期と同じ役員で引き続き運営してまいります。
定時総会後、関西支部長である門元則氏（＃321）から、「“UCP600”準拠の外為実務」をテーマにご講演いただきました。
研修会終了後、関西支部会員と寺尾氏を交え懇談会を開催いたしました。
関西支部研修スケジュール
7月21日（土）15：00〜17：30
講　演：「知的財産権」
講　師：AIBA中国・四国支部　角井好孝氏（＃439）
（関西支部書記　小東和裕 記）

AIBA　NET　論壇

（4月）
信用状つき荷為替手形の買取と取立について
アパレル製品の検品・検針の現地委託
（5月）
中古OA機器の輸出
DDUについて：国際宅配便
（6月）
中国からの輸入取引条件
中国での輸入税還元
中国増値税還元率引き下げの案内
電子ファイルの輸入について
EMSの通関
貿易アドバイザー試験に関して

アドバイザーの活動

講演・講師

1. 清水　正明（埼玉　＃47）
4/25
埼玉キワニスクラブ主催4月例会
「世界の貿易と日本のポジション」
於：さいたま市
4/25
ジェトロ埼玉情報デスク、国際経済交流企業共催
「国際ロジスティック現場研修と見学」の指導
場所：東京税関、大井CY
6/26
東芝総合人材開発㈱主催
「ロールプレイで学ぶ貿易実務」
於：横浜市 東芝総合人材開発㈱

2. 永野　靖夫（東京　＃68）
5/16
栃木県産業労働観光部主催
「輸出実務入門その1」
於：宇都宮
5/29
ジェトロ福島他主催
「輸出実務のポイントと取組事例」
於：福島市
6/6
栃木県産業労働観光部主催
「輸入実務入門その1」
於：宇都宮
6/22
ジェトロ川崎主催
「輸出入に取組む心構え」
於：川崎

3. 山岡　裕明（奈良　＃173）
5/30
しまね産業振興財団主催
貿易実務研修会、技術輸出契約編
「技術輸出契約と問題点の解決」
於：松江市、テクノアークしまね

4. 門　元則（京都　＃321）

5/19
AIBA関西支部主催、5月定例研修会、
「UCP600準拠の外為実務」
於：長堀安田ビル（大阪市）

5. 木村　徹（東京　＃347）
4/24
中小企業大学校主催
中小企業診断士養成課程
「物流戦略の構築について」
於：中小企業大学校　東京校
6/7
ヒューマンリンク株式会社主催
新入社員研修
「貿易講座、運輸・物流編」
於：ヒューマンリンク株式会社本社

6. 池崎　元彦（神奈川　＃431）
5/23
ジェトロ川崎国際ビジネス情報センター主催
中国貿易・投資セミナー
「中国経営環境の変化と日系企業の対応」
於：川崎日航ホテル
6/19
株式会社エムシーマシナリー主催
新入社員研修
「貿易講座　運輸・物流編」
於：エムシーマシナリー本社

相談・アドバイス

1. 清水　正明（埼玉　＃47）
4/6, 5/13, 6/10
埼玉県主催
埼玉県海外取引アドバイザー制度による相談
於：さいたま市
4/16, 5/7, 6/7,14,21
さいたまビジネスサポートセンターによる相談
於：さいたま市

2. 中川　善博（三重　＃67）
4/19, 5/7, 6/21
ジェトロ三重主催
巡回貿易相談
於：伊勢商工会議所、松阪市産業振興センター

3. 高橋　伸二（兵庫　＃420）
5/10, 17
ジェトロ神戸主催
貿易相談会（瓦の輸出）
於：ジェトロ神戸
5/18
ジェトロ福井主催
貿易相談会（理美容鋏の輸出、スポーツ用品の輸出、海苔の輸入）
於：ジェトロ福井
6/14
ジェトロ神戸主催
貿易相談会（合板の輸入）
於：ジェトロ神戸
6/26
三木商工会議所主催
貿易相談会（原産地証明に関する質問）
於：三木商工会議所

4. 池崎　元彦（神奈川　＃431）
4/9, 19, 24, 5/14, 24, 31
中小企業基盤整備機構主催
国際化相談援助事業（中国投資、貿易関連）
於：同機構本部
4/11, 5/7, 9
財団法人　海外職業訓練協会主催
国際化相談援助事業（中国投資及び人材育成）
於：同協会東京事務所

執　筆

1. 永野　靖夫（東京　＃68）
2007/5～2008/1
「海外取引入門」
産業情報とちぎ　5月号より隔月掲載

2. 藤原　孝一（兵庫　＃93）
2007/5
「よくわかる貿易実務書」

2007～2008最新改訂版
（有）ジェーエムシー発行

アドバイザーの現況（2007年5月31日現在）

期別人員

第１期	（#1～118）	49名	15.8%
第２期	（#119～179）	29名	9.4%
第３期	（#180～215）	19名	6.1%
第４期	（#216～264）	33名	10.6%
第５期	（#265～341）	49名	15.8%
第６期	（#342～368）	16名	5.2%
第７期	（#369～433）	42名	13.5%
第８期	（#434～453）	13名	4.2%
第９期	（#454～484）	20名	6.5%
第10期	（#485～503）	16名	5.2%
第11期	（#505～515）	7名	2.3%
第12期	（#516～520）	4名	1.3%
第13期	（#521～541）	13名	4.2%
合計		310名	

支部別人員

北日本支部	15名	4.8%
首都圏	175名	56.5%
東海支部	28名	9.0%
関西支部	49名	15.8%
中国四国支部	18名	5.8%
九州支部	17名	5.5%
海外	8名	2.6%
合計	310名	

理事会議事録（抄録）

第67回定例理事会

日　時：2007年5月24日（木）16:00-20:00
場　所：秋葉原事務所　2F会議室
出席者：理事及び監事15名（敬称略）
理　事：澤田、大谷、網谷、寺尾、橋本、川村、井上、小河原、釜堀、畠山、中川、門、近藤
監　事：野本、岩田

1. 第5期収支決算報告書　承認の件

会計担当の井上理事より決算案の説明があり、第5回定時会員総会に付すことを承認した。

2. 第6期予算案　承認の件

第6期予算案について、専務理事から説明があり、その中で、支部運営費について一部質疑応答があったが、原案通り、総会に付議することを承認した。

但し、事務局の報酬の項については、「AIBA健全化のための基本策」自助努力としての経費削減の項で、別途、議論することになった。

3. 第5期活動報告と第6期事業方針承認の件

事業推進グループ（網谷理事）、パブリシティー・グループ（橋本理事）、会員活性化グループ（大谷理事）より第5期の活動報告と第6期事業方針が発表された。

4. 第5回定時会員総会準備の件

第5回定時会員総会は飯野ビル、レストラン・キャッスルにおいて、6月23日（土）午後3時より開催されることが確認された。

5. AIBA財政の健全化のための基本策

自助努力としての経費節減と事業のビジネス化方向

経費節減策の一環として、「執行部のAIBA財政立て直し方策を会員に理解を得るための一助として事務局の報酬を一定期間一部返上し、執行部側も経費節減に努力をしている姿勢を示しては如何」との意見が出されたが、反対意見もあり、理事会では採決するに至らなかった。また、AIBA事業はビジネスとして、今後一層の採算重視が強調された。

6.「貿易アドバイザー試験制度」改変方向とAIBAの方策(報告)

貿易アドバイザー試験制度に関するジェトロの対応について、現況報告があった。

7. 次期役員改選の件

役員改選の方法について、前回の理事会に引き続き、議論されたが、結局、理事の互選により網谷理事を次期理事長に選出し、第5回定時会員総会にて、理事長として推挙することを承認した。また、現役員の辞任に伴う理事・監事候補として、柴田篤、大河内竹雄、伊東仁一、菅野英明および井上照章の5氏を承認した。（なお、その後のAIBA役員ネットによる理事会にて、渡辺肇幸、白土茂雄、下田伊佐夫の３氏を理事として推挙することを承認した）

＜編集後記＞

★橋本浩一さんがパブリシティー担当理事を退かれました。長期にわたりAIBAだより編集人として本誌を立派に育ててくださいましたことを感謝申し上げます。今45号よりは釜堀事務局長の編集人兼任に小生がお手伝いする形で進めることになります。

★さて、最近のAIBAを取り巻く環境の変化はジェトロの改革を始めとし、大きく且つ急速なものになっています。今号に掲載された新・前理事長の「ご挨拶」にも、この変化への対応についてのご苦労の様子が滲み出ていると感じました。

★AIBA運営の一端を担っている「AIBAだより」も当然ながら協会全体の対応策や舵取りに即応しなければなりません。AIBAの目指す方向に沿った編集が求められるでしょう。

★役員諸氏はもとより広く会員の皆様のご指導・ご支持をお願いする次第です。　（SK）

ジェトロより出版

「輸出のすすめ方」

平成18年10月初版発行

「輸入のすすめ方」

平成17年12月第4版発行

著者：永野 靖夫

http://www.bouekitenbou.com

新刊のご案内

小学生のアメリカ日記

「ハロー、そして、こんにちは」

（本人による英文併記）

内容紹介

・わたしは七歳の時に父の転勤のためアメリカに住むことになりました。(I moved to the US when I was 7 years old because of Father's job.)

・日本の少女がアメリカに移住。新しい場所、新しい生活、新しい友だち、そして新しい言葉。少女はその感激を日本の祖母にFAXで送った。

アメリカの学校生活が手に取るように判る、初級レベルの英語の読み物としても最適

「アマゾン」からネット注文して下さい（書名検索）

問合せ：N TRADE SUPPORT　(Adviser #76)

E-mail : n-trade@mvf.biglobe.ne.jp

『宝飾品なんでも鑑定と買取り』

1974年　米国宝石学会ロスアンゼルス本校卒業

1997年　ジェトロ認定貿易アドバイザー

どんなに古い、壊れた、小さい物でも大丈夫

金、プラチナ、ダイヤモンド、その他各種宝石

秘密厳守、鑑定鑑別のみ無料

宝石の杜

仙台市青葉区立町27-5　不二ビル1F

TEL/FAX: 022-267-9390

kuro@gold777.jp

http://www.gold777.jp

CD-ROM電子書籍

「よくわかる貿易実務書」

2007～2008 最新改訂版

⇒　豊富なエクセル書式資料

⇒　書式をカスタマイズし、自社用、研修や講演用等に活用可能

⇒　４月新年度の法改正に対応

⇒　関連サイトのＵＲＬ掲載

★ＡＩＢＡ会員は１０％特別割引

ご注文の際、会員番号をお知らせください

詳細およびご注文は下記URLより

http://www.jmc-bizcon.co.jp/

有限会社　ジェーエムシー